

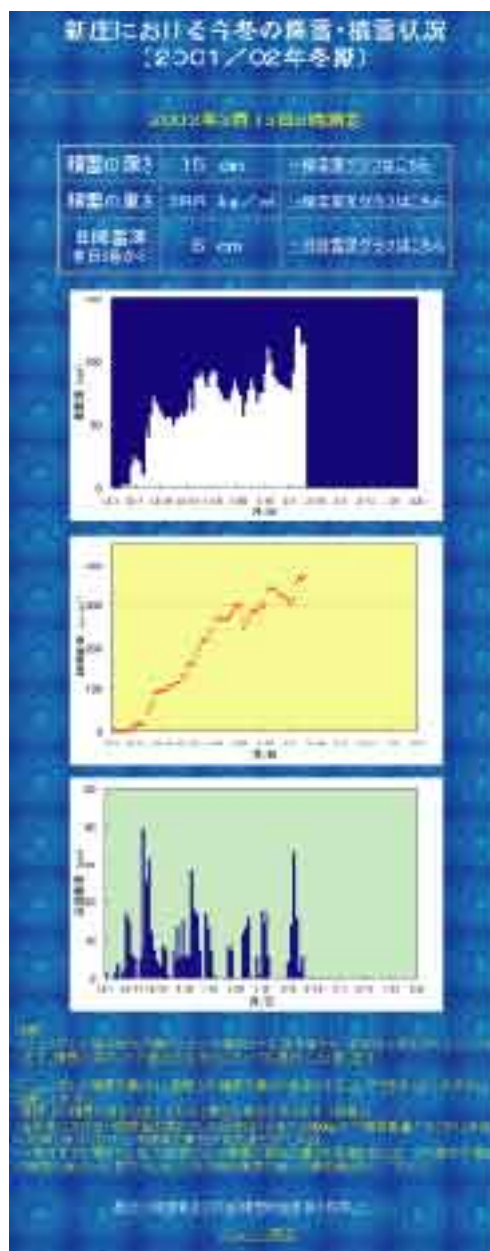
降積雪観測データをインターネットで公開

冬期の問い合わせに応える

白く美しい雪は、雪国に生活する人々にとって大きな脅威となることもあります。吹雪による視程障害が原因となる自動車事故や、雪崩による遭難死などのニュースも毎年のように聞かれます。さらに、屋根に積もった雪が家を壊したり、雪下ろしの最中に屋根から転落し命を落とすこともあります。雪氷防災研究部門ではこのような雪害の防止のための研究を行っていますが、同時に、雪害の発生原因となる気象・降積雪条件の継続的な観測を長年行ってきています。観測データは、整理したのちに防災科学技術研究所研究資料集として随時刊行するとともに、一部はホームページ上で公開してきました。これらのデータは、これまでに雪国の行政機関や、民間の設計会社、雪の研究者などに利用されてきましたが、このような整理した形で公開するまでには時間がかかること、冬期間には現在の積雪状況の問い合わせが多いことなどを考慮して、最新の降積雪観測データをホームページ上で公開することにしました。

毎朝 9時のデータを提供

降積雪の観測は長岡雪氷防災研究所（新潟県長岡市）と同研究所新庄支所（山形県新庄市）で行っています。ホー



降積雪観測データの公開ページの例

ムページには、毎朝 9時に測定した積雪の深さ、積雪の重さ、日降雪深（前日 9時からの 24時間間に降った雪の深さ）の値と、冬期間のそれらの推移がグラフ表示されています。積雪の重さを継続的に測定している機関は少ないため、その最新の値は利用価値が高いと考えられます。たとえば、現在屋



降積雪の観測施設（長岡雪氷防災研究所新庄支所）

根に積もっている雪の重さを推定し、雪下ろしをすべきかなどの判断に利用できます。また、より詳細な情報として積雪断面観測の結果（深さ毎の雪の種類や硬さなど）も、このページからジャンプして参照することが可能です。なお、ホームページの更新作業は平日のみ行っているため、土日および祝祭日には当日のデータに更新されません。

地形などに注意して活用を

観測データは長岡、新庄とも研究所の構内で測定したものです。雪の降り方、積もり方は、地形の影響や風による吹き溜まりなどの影響を受けて場所によってかなり違うことがあります。また、建物の構造などによって雪下ろしの目安となる積雪の重さは異なりますので、利用するときには注意する必要があります。

問い合わせ先：長岡雪氷防災研究所 1 0258-35-7522

長岡雪氷防災研究所 新庄支所 1 0233-22-7550

URL 長岡 http://www.bosaigo.jp/nagaoka/juredata/snow_n.htm

新庄 http://www.bosaigo.jp/shinj/juredata/snow_s.htm

大矢雅彦早大名誉教授に感謝状

当研究所自然災害情報室附属資料室では、大矢雅彦早稲田大学名誉教授のご厚意とご協力により、全水害地形分類図を収集・整理し、「大矢雅彦編著 水害地形分類図全集 第1～7巻、別巻」として配架しました。これは大矢雅彦氏の長年にわたる研究成果である水害地形分類図を初めて体系的にまとめた貴重な資料です。

その1～7巻には49編の水害地形分類図が、別巻には論文等に掲載された29編の水害地形分類図が説明書や関係

文献とともに収録されています。

今年1月30日、この大矢雅彦氏のご厚意に対し片山理事長より感謝状が贈呈されました。

（問い合わせ先：自然災害情報室）

